

沖縄を出撃基地に、戦場にするな！

獄中44年沖縄闘争を闘った無実の政治犯

星野文昭・暁子 絵と詩展



絵 星野文昭 「アフガンの少女たち」

新しい教科書

新しい教科書を 開く時
高鳴る胸 鼓動が 聞こえる

手をあげて 私は答えた

「夢は 学校の 先生です」

友だちのライラちゃんも 手をあげた

「夢は 医者になることです」

学校までの 10キロの道を

裸足で 歩いて たどり着いた

明日も 明後日も

学校に来られる

みんな みいんな

喜びに ふるえた

〈詩〉 星野暁子

2026年

6月19日(金) 12時~19時

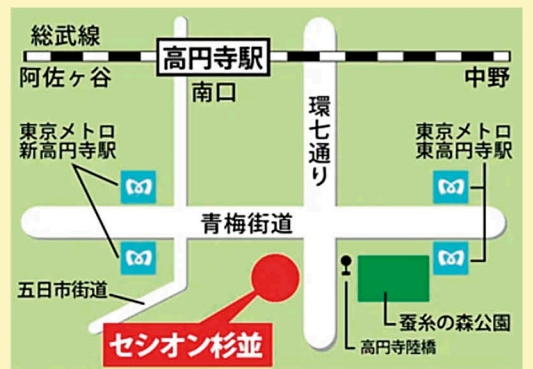
20日(土) 10時~18時30分 18時30分より同会場で講演会(裏面)

21日(日) 10時~17時

会場 **セッション杉並 展示室 (1F) 入場無料**

東京メトロ丸の内線「東高円寺」駅 徒歩5分

または「新高円寺」駅 徒歩7分 (杉並区梅里1-22-32)



宮古島と杉並を結ぶ6・20講演集会

- 日時 6月20日(土)
開場/18時 開演/18時30分
- 会場 セシオン杉並 展示室
- 参加費 資料代500円

講演

琉球弧・宮古島の
軍事要塞化と
自衛官恫喝事件



清水早子さん

「ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会」共同代表。1995年より宮古島に在住。島の子どもたちと向き合う教育産業に就きながら、反戦反基地、島の軍事基地化反対運動を続けて四半世紀。ブログ「琉球弧の軍事基地化に反対するネットワーク」、Facebook「いなしやあかなす」「NO MISSILE MIYAKOJIMA」



星野国賠訴訟の
判決を前にして
星野国賠訴訟代理人

岩井信 弁護士

1971年、米軍基地の「永続化」のためのパテント的沖縄返還に対して、沖縄では怒りの全島ゼネストが闘われました（5月と11月）。その闘いに「本土」で応えようと、星野文昭さん大坂正明さんら多くの労働者学生が11・14渋谷闘争に立ち上がりました。デモで機動隊員が1名死亡したことで、星野さんは殺人罪をでっちあげられ、無期懲役刑とされました。大坂さんも指名手配され、2017年に不当逮捕されました。星野さんと大坂さんは無実です。半世紀以上も続く、反戦運動つがしの政治弾圧です。



星野文昭さん



大坂正明さん

トランプ政権は、中国の体制を転覆する侵略戦争を決断し、イランへの凶暴な侵略戦争を強行しています。「第1列島線で中国軍と戦争する体制」を求めるトランプに応える高市政権は、武器輸出全面解禁、GDP比5%の大軍拡、長射程ミサイル配備、憲法改悪など、戦時体制へ突き進んでいます。イラン侵略戦争—中国侵略戦争阻止！今こそ星野・大坂さんに続こう！沖縄闘争・反戦闘争に立ち上がろう！

星野国賠に完全勝利し、1万人署名で大坂さん奪還を

44年間無実を訴え続けた星野さんは、徳島刑務所による肝臓がんの放置、東日本成人矯正医療センターでのたらいまわし術後管理によって2019年5月30日に獄死しました。お連れ合いの星野暁子さんは刑務所と医療センターの責任を追及するため国家賠償請求訴訟を起こし、2025年3月24日に一審で勝利判決を勝ち取りました。刑務所の責任を明確にするため控訴し、6月26日に判決を迎えます。

大坂さんの一審裁判では、当時の少年らが「ウソの供述をさせられた」と証言、大坂さんの無実が次々に明らかになりました。しかし2023年12月22日、東京地裁の高橋泰明裁判長はその証言をすべて無視し、52年前のウソの供述調書のみで「懲役20年」の判決を出しました。許せません。署名を集め、大坂さんを取り戻しましょう。

宮古島の貴重なお話—6・20講演集会にぜひ参加を

軍事要塞化が進む宮古島から、体を張った闘いを続ける清水早子さんに来ていただきます。清水さんたちは、自衛隊の隊長が怒鳴りこんできた件で国賠訴訟を開始し、その第1回期日が6月9日に決まりました。「自衛隊差別だ」などという居直りを許さず、侵略軍隊化の攻撃に共に立ち向かいましょう。清水さんの講演から沖縄の島々の現実を学び、「沖縄を戦場にすなな」の闘いを広げていきましょう。

岩井信弁護士からは、6月26日の判決を前にして、星野国賠訴訟完全勝利に向けて、星野文昭さんの命を奪った国の批判を改めて提起していただきます。多くの皆様のご参集をお願いします。

沖縄闘争を闘った星野さん大坂さんに戦争反対で続こう

絵と詩展/6・20集会に賛同します。(公表 可 不可)

賛同金一口/(個人) 500円 (円)
(団体) 2000円 (円)

コメント

氏名

住所

電話またはEメール